

日本地震工学会・地震学会共催  
昭和南海地震70周年シンポジウム

日時：2016年9月27日 15:00-18:00

場所：高知工科大学永国寺キャンパス A104教室（220名）

「昭和南海地震70年シンポジウム-来たるべき南海トラフ地震への備えを考える」  
主催：公益社団法人日本地震工学会、公益社団法人日本地震学会

**14:30-15:00** 受付

司会：高知工科大学教授 甲斐芳郎（日本地震工学会）

**15:00-15:05** 趣旨説明：地震工学会会長 目黒公郎

**15:05-16:35** 講演会（各30分、質疑なし）

古村孝志 地震学会副会長（**15:05-15:35**）

「見えてきた、南海トラフ巨大地震の姿」

目黒公郎 地震工学会会長（**15:35-16:05**）

「最近の地震災害から学ぶ教訓と今後の我が国の防災対策のあり方」

磯部雅彦 高知工科大学長（**16:05-16:35**）

「津波防災対策のあり方と高知県の取り組み」

**16:35-16:55** 休憩

（地震工学会大会 優秀発表賞 表彰式）

**16:55-17:55** パネルディスカッション

「来たるべき南海トラフの地震に向けた課題」

モデレータ：目黒公郎

パネリスト：

古村孝志（東京大学教授）、磯部雅彦（高知工科大学長）、目黒公郎（東京大学教授）

岡村眞（高知大学特任教授）、堀田幸雄（高知県危機管理部副部長）

**16:55-17:00** 趣旨説明、パネリスト紹介

**17:00-17:10**：話題提供 岡村眞 特任教授

「南海トラフ巨大地震津波の歴史 -沿岸湖沼の記録を読む-

**17:10-17:50**

- 1) 事前対策を進める上でのポイント（**17:10-17:20**）
- 2) 災害の直後対応に関するポイント（**17:20-17:30**）
- 3) 復旧・復興活動におけるポイント（**17:30-17:40**）
- 4) 全体のまとめ（**17:40-17:50**）

**17:55-18:00** 閉会挨拶：東京大学教授 古村孝志（日本地震学会）